

令和7年度第2回田村市公共交通活性化協議会議事概要

日時	令和7年10月8日（水）～10月22日（水）（書面開催）
場所	—
議事事項	(1) 会長の選任について (2) 田村らくらくタクシー利用者アンケートについて
概要	
1 議事	
（1）会長の選任について 事務局より説明資料送付 質疑なし。 承認	
（2）田村らくらくタクシー利用者アンケートについて 事務局より説明資料送付 質疑あり。 → 意見一覧のとおり 承認	
2 報告	
（1）田村市地域公共交通人材育成事業について 質疑あり。 → 意見一覧のとおり	
（2）磐越東線団体臨時列車の運行について 質疑あり。 → 意見一覧のとおり	

令和7年度第2回田村市地域公共交通活性化協議会意見等

【議事事項】

No.	質問・意見	回答
(2)田村らくらくタクシー利用者アンケートについて		
1	問3-1で「1. 使いづらい点がある」と回答した場合は問3-2へ誘導しているが、問3-1の回答者であっても問3-3の「普段のお出かけで困っていること」がある回答者もあると思われるが、この質問の設定では回答したくとも回答できないケースが出ると思われる。	「問3-2」回答者でも「問3-3」に回答いただけるよう、「問3-2」の下へ以下の通り追記いたします。 「↓問3-3へお進みください」
2	利用料金についての説明と質問が入っていない。どうして質問しないのか。	「問3-2」の設問中「●利用環境に関する事」にて、「11. 利用料金が高い」と料金の項目を設定しております。 説明については、利用者ニーズを把握するためのアンケートですので、料金等の説明は省略いたします。
3	最後の「問3-3」の回答欄が小さいと思いました。 他の項目や余白と調整し、もう少し拡大してはいかがでしょうか。	ご指摘のとおり項目間や余白を調整し、回答欄を拡張いたします。

【報告事項】

No.	質問・意見	回答
(1)田村市地域公共交通人材育成事業について		
1	日本版ライドシェアは、タクシー事業者がらくらくタクシーの補完事業として運行することが大事であると思われる。 面積が広い田村市を効率良く有効的に運営するには、青ナンバーと白ナンバーを一体的に運行させることがベストであると思われます。 都路地区は最初の実験地域。	
2	事業の内容や必要性などが具体的に記載されていないため、よくわからない。説明してほしい。	事業の内容は、地域の交通課題を自分ごととして捉え、自ら考える人材を育成するため、市職員、交通事業者及び地域住民などと協働で交通事業実務の知識を身につけるとともに、住民ニーズに合った交通、持続可能な交通、地域協働の交通など多角的な視点から公共交通のあり方を考え、住民自身が主体的に地域交通の課題解決に向けて協議する体制の構築を図るものであります。 事業の必要性は、令和6年度までの田村市地域公共交通活性化協議会で協議したものであり、自家用車を持たない高齢者の買い物・通院などや、学生の通学などの移動手段の確保・充実を図る取組みとして、公共交通ライドシェアなどの新たな交通モードを検討するものであります。
3	提案事業者がどうして東京の1社だけだったのか。他に事業者はいなかったのか。	令和7年6月23日(月)から令和7年7月2日(水)まで、全国の事業者を対象に公募を行い、参加表明があったのは1社のみです。
4	総事業費が約840万円と高額なので、その内訳を説明してほしい。	交通実態調査、セミナー(2回)、勉強会(2回)、ワークショップ(2回)及び検討会(1回)の企画運営、周知用チラシのデザイン費用等となっております。
5	東京の1社に高額な金額で(具体的な内容が記載されていないので不明だが)委託する必要性があるのか。いくら全額補助とはいえ、十分に検討したのか。	事業の必要性は上記2で示したとおりであります。 地域交通の課題解決に向けた人材育成には専門知識や経験が必要不可欠であり、国の支援を受け、専門知識を持った事業者に委託し、実施するものであります。
6	説明資料の概要が抽象的に書かれているようで、内容が分からぬ。	上記2のとおりです。
7	早急に取りくんでください。	
(2)磐越東線団体臨時列車の運行について		
1	単発の臨時列車運行は、一時的イベントにすぎない。 二次交通として、観光タクシーを運行プランを作成して、田村市周遊観光してもらうことも必要であると思います。	
2	臨時列車の運行はいいと思うが、1日だけのイベントで終わってしまう。	
3	もっと日常的な利用者を増やすことを考えなくてはならない。	
4	このままでは磐越東線が廃止されてしまうという危機感が乏しいと感じる。	